

Ⅲ. 機構・職員・予算

1. 機 構

A. 機構の概要

生産技術研究所は日常の業務遂行の面から、研究部と事務部とに大別される。

研究部は、運営の便宜上、5部門に分かれ、部ごとに互選による2名の常務委員がいて部の日常の事務処理に当たる。常務委員のうち1名は、部主任として部を代表する。常務委員は、常務委員会を組織し、所長の諮問機関として毎月2回、会議を開催している。研究部は研究室から成り立っており、また、その部の専門を適当に分類した専門分野表は1ページ「沿革」の項に掲げた通りである。

中間試験部は、基礎部の基礎研究として完成したもので、これを工業化へ移すための中間規模の試験研究を行なうところで、毎年各部から2名ずつ選出する委員の組織する特別研究審議委員会で研究課題を審議決定し、特別の予算をつぎこんで実施している。また受託研究の一部には中間試験研究になるものがある。

試作工場および図書室は、それぞれ各部から選出する教授・助教授が委員となって組織する委員会によって運営される。それらの詳細は、前記試作工場、図書書の項を参照されたい。

本所の重要事項は教授総会で議決する。教授総会は教授・助教授によって組織され毎月1回定期に開催している。他に教官同志の知識向上をはかる輪講会が毎月1回行なわれている。

協力機関には、航研・生研連絡会議がある。

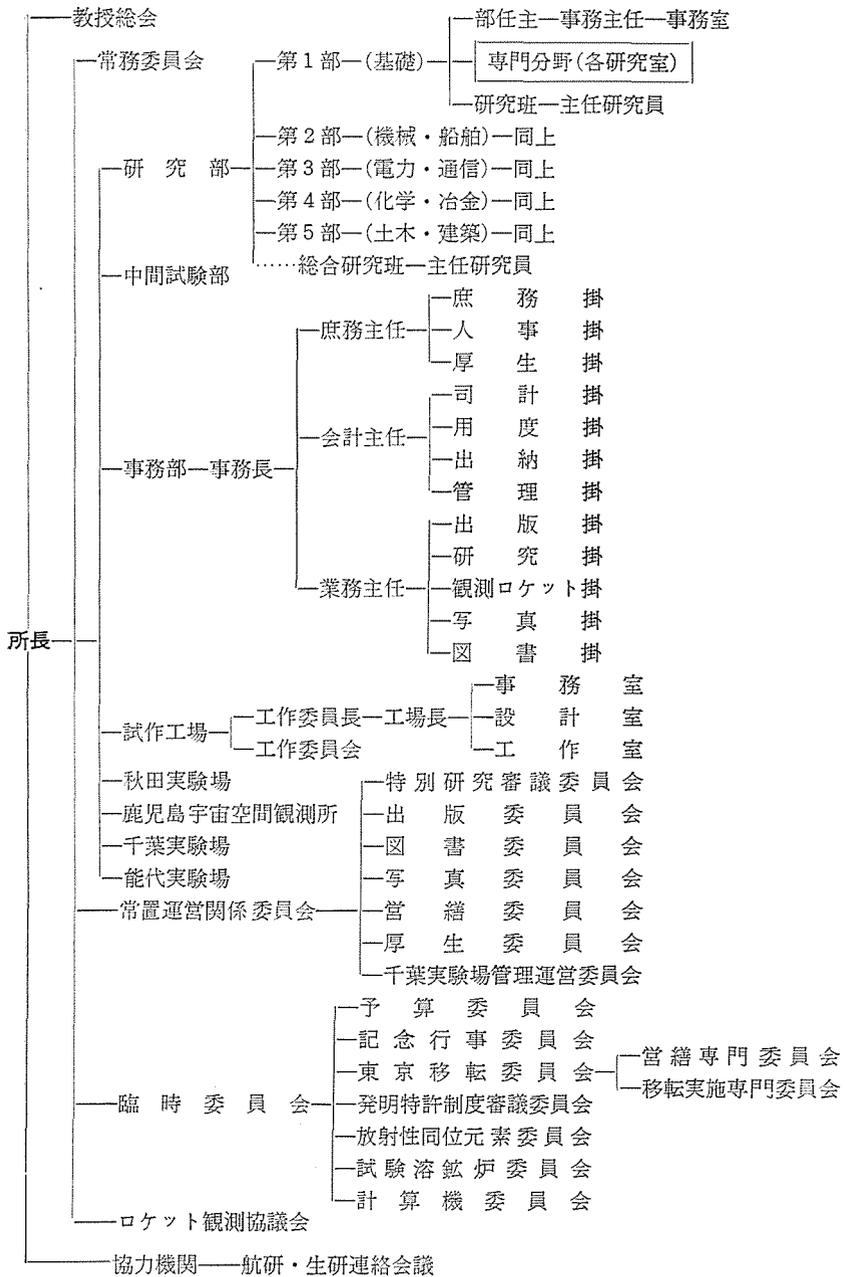
その外に、所員が、それぞれの専門の立場から、事務運営を指導し、助言する機関として、各運営委員会がある。その種類は次ページのB. 機構図にある通りで、内容は巻末の委員会諸規程を参照されたい。

大 学 院

本所で現在教育を受けている大学院学生は新制58名である。新制大学院は昭和28年4月から開始され、本所の関係する大学院のコースは、数物系研究科中の、土木・建築・機械・精密・船舶・電気・応用物理・航空および化学系研究科中の応用化学・冶金である。

外に会社・官公庁、その他一般からの申出により、一定期間、ある事項について研究を指導する研究生の制度がある。その規定は巻末142ページにある。

B. 機 構 図



2. 職 員

A. 現 員 表

a. 職種別職員数

区分	教授	助教授	助手	技官	事務官	技術員	事務員	技能員	用務員	合 計
職員数	40 *11	31	59	115	71	72	41	38	30	497 *11

* 印併任

b. 諸系統別職員数

区分	研究系統						事務系統			技術系統			技能労務系統			その他		合 計	
	教 授	助 教 授	研究 担当	研 究 員	技 官	助 手	計	事 務 官	事 務 員	計	技 術 官	技 術 員	計	技 能 員	用 務 員	計	日 雇 者 (乙)		計
職員数	40 *11	31	8	37	37	59	212	71	41	112	64	72	136	14	38	30	82	37	579 *11

* 印併任

B. 職 員 名 簿

第 1 部

* 新制による学位

官職	氏 名	卒 業 学 部 学 科	卒 業 年 月 日	学 位 取 得 年 月 日	学 位
教 授	岡本 舜三	東 大 工, 土木	昭 7. 3. 31	昭 23. 2. 19	工
”	久保田 広	理, 物理	” 9. 3. 31	” 18. 2. 26	”
”	糸川 英夫	工, 航空	” 10. 3. 31	” 24. 1. 5	”
”	一色 貞文	” 冶金	” 11. 3. 31	” 24. 2. 14	”
”	玉木 章夫	理, 物理	” 14. 3. 31	” 26. 4. 11	”
”	大井光四郎	” 数学	” 14. 3. 31	” 37. 3. 31	”
併 任 教 授	山内 恭彦	” 物理	大 15. 3. 31	” 13. 4. 19	理
”	平田 森三	” ”	昭 3. 3. 31	” 16. 1. 14	”
”	熊谷 寛夫	” ”	” 9. 3. 31	” 14. 7. 31	”
”	池田 健	工, 航空	” 6. 3. 31	” 18. 6. 15	工
助教授	富永 五郎	理, 物理	” 17. 9. 30		

助教授	鳥飼 安生	東, 大 理, 物理	昭18. 9. 25	昭30. 4. 4	理
"	森 大吉郎	二工航機	" 19. 9. 25	" 36. 9. 5	工
"	山田 嘉昭	" 機械	" 20. 9. 25	" 37. 1. 22	"
"	小瀬 輝次	" 精密	" 22. 9. 30	" 36. 7. 27	"
"	秋葉隼二郎	工, 応物	" 29. 3. 27	" 34. 10. 5	*工
技 官	北川 英夫	" 物理	" 21. 9. 30	" 37. 2. 3	工

第 2 部

教 授	竹中 規雄	東, 大 工, 機械	昭11. 3. 31	昭26. 5. 26	工
"	小川 正義	" 造兵	" 13. 3. 31	" 25. 10. 25	"
"	鈴木 弘	" 機械	" 15. 3. 31	" 26. 4. 11	"
"	橘 藤雄	" "	" 11. 3. 31	" 28. 1. 29	"
"	平尾 取	" "	" 14. 3. 31	" 29. 3. 17	"
"	亙理 厚	" 航空	" 16. 3. 31	" 27. 4. 4	"
"	水町 長生	" 機械	" 15. 3. 31	" 33. 8. 6	"
"	田宮 真	" 船舶	" 16. 12. 25	" 33. 5. 2	"
"	松永 正久	" 造兵	" 16. 12. 25	" 32. 8. 1	"
併任 教授	千々岩健児	" 機械	" 19. 9. 25	" 32. 1. 13	"
"	安藤 良夫	二工船舶	" 20. 9. 25	" 35. 8. 13	"
助教授	大島康次郎	工 機械	" 17. 9. 25	" 32. 7. 8	"
"	植村 恒義	二工 "	" 19. 9. 25	" 37. 1. 22	"
"	石原 智男	" "	" 21. 9. 30	" 30. 5. 27	"
"	高橋 幸伯	" 船舶	" 21. 9. 30	" 36. 12. 22	"
"	柴田 碧	工, 機械	" 28. 3. 28	" 33. 3. 29	*工
"	森 政弘	名, 大 工, 電氣	" 25. 3. 17	" 34. 4. 27	工
技 官	富成 襄	東, 大 工, 精密	" 26. 3. 28	" 37. 3. 5	"

第 3 部

教 授	藤高 周平	東, 大 工, 電氣	昭 5. 3. 31	昭17. 12. 24	工
"	高木 昇	" "	" 6. 3. 31	" 17. 5. 15	"
"	森脇 義雄	" "	" 8. 3. 31	" 22. 6. 23	"

教授	沢井善三郎	東工, 大電氣	昭10. 3. 31	昭25. 5. 31	工
"	斎藤 成文	" "	" 16. 12. 25	" 26. 8. 20	"
"	野村 民也	二工 "	" 20. 9. 25	" 34. 11. 20	"
"	渡辺 勝	理, 物理	" 16. 12. 25	" 34. 12. 9	理
"	尾上 守夫	二工電氣	" 22. 9. 30	" 30. 6. 30	工
"	安達 芳夫	" "	" 19. 9. 25		
併任教授	後藤 以紀	工 "	" 2. 3. 31	" 9. 4. 5	"
助教授	黒川 兼行	二工 "	" 26. 3. 28	" 33. 5. 14	"
"	浜崎 襄二	工 "	" 28. 3. 28	" 33. 9. 15	工
"	河村 達雄	" "	" 29. 3. 28	" 34. 3. 30*	"
"	山口 楠雄	" "	" 32. 3. 28	" 37. 3. 31	"
技官	後川 昭雄	" "	" 27. 3. 28	" 37. 1. 22	工

第 4 部

教授	高橋 武雄	東工, 大応化	大15. 3. 31	" 16. 3. 24	工
"	福田 義民	" "	昭 3. 3. 31	" 20. 11. 7	"
"	永井 芳男	" "	" 5. 3. 31	" 21. 11. 7	"
"	菊池 真一	" "	" 8. 3. 29	" 23. 6. 3	"
"	江上 一郎	" 冶金	" 10. 3. 31	" 24. 2. 14	"
"	山本 寛	" 応化	" 13. 3. 31	" 27. 4. 4	"
"	浅原 照三	" "	" 14. 3. 31	" 28. 8. 19	"
"	加藤 正夫	" 冶金	" 15. 3. 31	" 27. 7. 7	"
"	野崎 弘	" 応化	" 14. 3. 31	" 32. 11. 15	"
"	雀部 高雄	" 冶金	" 11. 3. 31		
併任教授	祖父江 寛	" 応化	" 4. 3. 31	" 16. 8. 4	理
"	松下 幸雄	" 冶金	" 17. 9. 25	" 32. 3. 22	工
助教授	山辺 武郎	" 応化	" 15. 3. 31	" 31. 12. 20	"
"	中村 亦夫	" "	" 16. 12. 25		
"	武藤 義一	" "	" 16. 12. 25	" 37. 3. 5	"
"	今岡 稔	" "	" 16. 12. 25	" 36. 6. 30	"

助教授	西川 精一	東大 二工冶金	昭19. 9. 25	昭36. 7. 31	工
"	原 善四郎	" "	" 19. 9. 25	" 37. 3. 19	"
"	後藤 信行	" 応化	" 19. 9. 25	" 36. 10. 26	"
"	河添邦太朗	" "	" 19. 9. 25		
"	館 充	" 冶金	" 20. 9. 25	" 36. 11. 1	"
技 官	早野 茂夫	" 応化	" 23. 3. 31		

第 5 部

教 授	福田 武雄	東大 工, 土木	大14. 3. 31	昭 7. 12. 16	工
"	星野 昌一	" 建築	昭 6. 3. 31	" 20. 9. 24	"
"	坪井 善勝	" "	" 7. 3. 31	" 16. 11. 29	"
"	星埜 和	" 土木	" 9. 3. 31	" 22. 8. 21	"
"	丸安 隆和	" "	" 14. 3. 31	" 26. 11. 26	"
"	勝田 高司	" 建築	" 15. 3. 31	" 27. 1. 25	"
併任 教授	関野 克	" "	" 8. 3. 31	" 20. 9. 24	"
"	高山 英華	" "	" 9. 3. 31	" 24. 7. 30	"
助教授	井口 昌平	" 土木	" 16. 12. 25		
"	池辺 陽	" 建築	" 17. 9. 25	" 37. 3. 27	"
"	三木五三郎	二工土木	" 19. 9. 25		
"	久保慶三郎	" "	" 20. 9. 25	" 37. 2. 20	"
"	田中 尚	" 建築	" 21. 9. 30	" 31. 12. 20	"
"	石井 聖光	" "	" 22. 9. 30	" 35. 4. 9	"
"	村松貞次郎	" "	" 23. 3. 31	" 36. 9. 5	"
技 官	小林 一輔	工, 土木	" 29. 3. 31		

事 務 部

事務長	白方 之次	日大法 文法律	昭 6. 3. 31		
工場長 (併任)	鈴木 正吾 (第2部技官)	東大 工, 機械	" 14. 3. 31		

年 間 異 動

官 職	氏 名	発令年月日	備 考
教 授	渡辺 要	37. 3. 31	停年退職
併 任 教 授	末岡 清市	37. 4. 1	教授に配置換, 併任教授を解除
東京工業大学教授	後藤 以紀	37. 4. 1	教授に併任
	山口 楠雄	"	助教授に採用
元 教 授	渡辺 要	37. 5. 22	東京大学名誉教授の称号を授与
助 教 授	安藤 良夫	37. 7. 1	教授 (工学部) に昇任, 本所併任教授
"	尾上 守夫	37. 9. 13	復職
教 授	末岡 清市	37. 9. 29	死亡
助 教 授	大井光四郎	37. 11. 1	教授に昇任
"	渡辺 勝	"	"
"	尾上 守夫	"	"
"	安達 芳夫	38. 1. 1	"
教 授	福田 武雄	38. 3. 31	停年退職
併 任 教 授	山内 恭彦	"	" (理学部)

C. 旧 職 員

名誉教授 故井口 常雄, 瀬藤 象二, 故友田 宜孝, 谷 安正, 星合 正治
 岡 宗次郎, 渡辺 要

元教授 故森田 三郎, 故茂木 武雄, 故吉川 晴十, 菱川万三郎, 吉原 英夫
 松本 良一, 故釘宮 磐, 岩崎 富久, 故竹中 二郎, 清水 菊平
 浅岡 勝彦, 石川 政吉, 山県 昌夫, 福田 節雄, 南波松太郎
 故増野 実, 谷 一郎, 河村 正弥, 沼田 政矩, 故小野 薫
 高橋 安人, 故宮津 純, 兼重寛九郎, 金森 九郎, 故末岡 清市

元助教授 故原 正人, 吉村 慶丸, 堀 武男, 渡辺 慧, 佐藤 正彦
 故内田 祥文, 渡辺 正雄, 高木 豊, 沢田 正二, 高月 竜男
 豊田 利幸, 故青木 洋, 故高尾 一郎, 田中 一彦, 元良 誠三
 中西 邦雄, 故桑井 源禎, 小川 岩雄, 江口 雅彦, 石井 義郎
 久松 敬弘, 仁木 栄次, 浜口 隆一, 丹羽 登

元技官 佐藤 敬夫, 中村 康治, 藤森 栄二, 橋爪 伸

元事務長 鈴木 弥孝

3. 決算と予算

A. 昭和 36 年度歳出決算額

	金 額	百分率 %	
総 額	659,029,606	100.00	
人 件 費	198,933,922	30.19	
物 件 費	460,095,684	69.81	100.00
各研究部研究費	50,693,500	7.69	11.02
特別研究費	21,253,000	3.22	4.62
受託研究費	6,100,000	0.93	1.33
受託研究員費	470,000	0.07	0.10
大学院学生経費	777,600	0.13	0.17
溶鉱炉運転費	4,596,300	0.70	0.99
設 備 費	14,800,000	2.25	3.22
図書購入費	2,050,000	0.31	0.45
出 版 費	3,500,000	0.53	0.76
試作工場経費	3,700,000	0.56	0.80
職員厚生経費	219,600	0.03	0.05
観測ロケット経費	265,347,000	40.26	57.67
移 転 経 費	37,725,000	5.72	8.20
その他の経費	48,863,684	7.41	10.62

B. 昭和 37 年度歳出予算額

	金 額	百分率 %	
総 予 算 額	759,192,400	100.00	
人 件 費	238,446,000	31.41	
物 件 費	520,746,400	68.59	100.00
各研究部研究費	53,622,000	7.06	10.30
特別研究費	20,100,000	2.65	3.86
受託研究費	14,100,000	1.86	2.71
受託研究員費	1,100,000	0.14	0.21
大学院学生経費	1,120,800	0.15	0.22
溶鉱炉運転費	4,596,300	0.60	0.88
設 備 費	15,900,000	2.09	3.05
図書購入費	3,800,000	0.50	0.73
出 版 費	3,500,000	0.46	0.67
試作工場経費	3,000,000	0.40	0.58

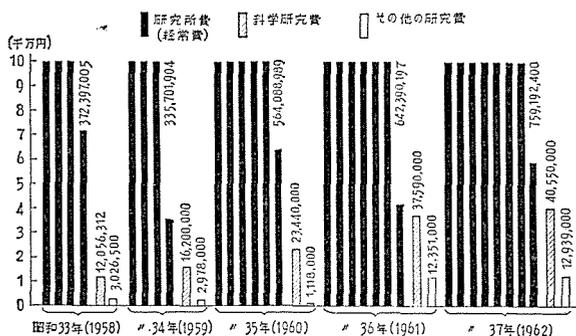
観測ロケット経費	308,556,000	40.64	59.25
職員厚生経費	441,900	0.06	0.08
移転経費	9,455,000	1.25	1.82
その他の経費	81,454,400	10.73	15.64

C. 文部省科学研究費関係 (昭和 37 年度)

総 額	40,550,000円
機 関 研 究	21,450,000
各 個 研 究	2,730,000
総 合 研 究	7,490,000
試 験 研 究	8,390,000

D. その他の研究費 (昭和 37 年度)

委員会および諸団体より	12,939,000円
総 計 (B+C+D)	812,681,400円



最近5ヶ年間の諸経費増減比較表